

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	LikePot鳥栖		公表日		令和 8年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		個別に対応したいときに、部屋分けが難しい場面がある。スタッフ間で連携をとりながら配置する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		人員配置は適正であるが、活動内容や支援量に対して不足感があるときがある。人員配置の調整とともに人材育成にも力を入れていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	活動部屋を色で分け、子どもたちが分かりやすいよう設定している。	玄関に段差がある。状況によっては、介助者や手すり等の設置も検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		換気、日々の消毒等を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	子ども達に説明し譲り合いをしている	個別対応が重なると難しいため、スタッフ間が連携し、部屋の使い方を工夫する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		その都度スタッフ間で話し合うように心がけている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向け評価表は年1回アンケートを実施し全スタッフへ周知を図っている。それを元にミーティングで業務改善に繋げている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			現在は利用者・社内2者評価を取っている第三者など外部評価については今後必要に応じて実施する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		カンファレンスを行い情報共有を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		カンファレンスを行い情報共有を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		スタッフ間で情報共有を行い支援計画目標に沿って支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		連絡帳や情報共有アプリにて、日々の記録を残しアセスメントの資料としている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		同じ活動内容でも目的に併せて動きや使用する道具をかえて変化を加えている。 長期休みは様々なイベント企画を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動では個々に合わせた課題や選択活動を提供し、小集団、集団活動では運動遊びやルールのある活動を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼等で日々のミーティングを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後に日々の振り返りを行っている ツールを活用し情報共有を行っている	業務が長引く日は翌日になることもあるが、情報共有アプリなどを活用し必ず情報共有は行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			業務状況により口頭のみにならないように後日でも記録の徹底を図り、支援の検証に役立っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			ガイドラインを用いてスタッフの理解が深まるよう研修を行っている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		選択肢を与え自分の意思を尊重し自己決定するよう促している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		利用開始前に情報提供をしてもらい必要に応じて支援者会議を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		計画相談員を通して情報提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		研修情報は周知や提示をしている	積極的に行えるように検討していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		年に3回交流会や勉強会のファミラボや家族参加型のイベントの開催を行っている	きょうだい児への支援については実地出来ていないため今後機会を検討する	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6				同系列の事業所合同でイベントを企画するが、地域の人を招いたことはない。今後、社内で検討して必要に応じて対応していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			現在、マニュアルは公開していないが委員会を設置しマニュアル作成・スタッフ研修を実施している。マニュアルも必要個所に保管し、すぐに使用できるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		発生時に備え今後も定期的な見直しをし、シミュレーション訓練を実施している		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				今のところ、身体拘束が必要な児童はいないため行ってない。やむを得ず対応として必要な場合は組織的に協議を行った上で判断を行う。	